

# もっと知りたいな熊谷

<b>校種・学年</b>		小学校・第3学年			<b>教科等</b>	総合的な学習の時間
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	20時間 前後期(9~12月)
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	ワークシート、パンフレット

## 1 プログラムのねらい

- 熊谷市の歴史や施設等を調べる活動を通して、郷土への愛着をもつ。
- 熊谷市に住んでいることに誇りを持ち、熊谷のよさを互いに認め合う態度を育成する。

## 2 プログラムと既存の学習との関わり

- 新堀地区を含めた熊谷市の魅力について理解し、生まれ育った「熊谷市」について詳しく知ることによって地域の自慢や人々の想いに触れ、今まで以上に愛着と誇りをもつことができるようになる。熊谷をアピールすることを意識させることで、郷土の魅力についてより深く知ろうとする気持ちを高めていく。

## 3 指導計画(20時間扱い)

時間	主な学習活動・内容等
3	・課題の設定 「熊谷市について知っていることを話し合う」
10	・情報の収集 「テーマについて情報を収集する」
3	・ <u>整理・分析</u> 「 <u>収集した情報を整理・分析する</u> 」(本時)
4	・まとめ・表現 「熊谷市の魅力が伝わる表現方法を考え、発表する」

## 4 本時の学習指導(本時 14/20)

時間(分)	学習活動	支援・留意点等
5	○本時のねらいや学習の流れを確認する。	○学習の見通しをもたせる。
5	○情報の整理・分析の重要性を知る。 ・必要な情報を選ぶ必要性を知る。	○社会にはたくさんの情報があふれていて、それを取捨選択する必要があることを伝える。
32	○調べた情報の整理・分析をする。 ・思考ツールの活用方法を知る。 ・グループで話し合う。 ・他のグループと話し合う。	○考えを付箋に書き思考ツールを用いて、情報を整理・分析する。
3	・学級全体で共有する。 ○本時の学習を振り返る。	○グループや学級全体で学び合いを取り入れる。 ○学習の振り返りをする。

## 5 おすすめのポイント (さらに、効果アップ!)

- 発表の相手を「オリンピックで世界中から訪れる外国の方々」に設定すると、ローマ字を活用する等まとめ方により工夫が出て、国際感覚を養うことができる。
- まとめたものを公共施設やお店等で掲示していただくことで、多くの方々に熊谷市の魅力をアピールできるとともに、児童の探求意欲を高めることができる。

## 6 授業の反省

## (1) 授業の取組について

## ① 言語活動について

## 効果的な学び合い活動の実施

## ア 学習の流れの明確化

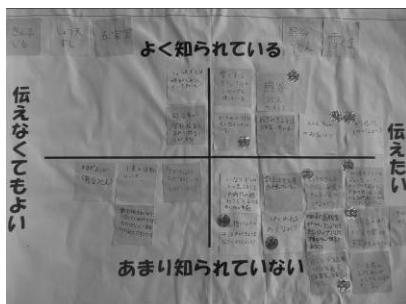
- ・個人→グループ→全体→個人という学習の流れを明確にする。
- ・個人で自分の考えをまとめる時間を十分にとる。
- ・グループでの学び合いで出た考えを全体で共有する。
- ・グループ間でも考えを伝え合う。
- ・最後に個人に戻し、自らの考えを広げたり、深めたりする。

## イ 思考ツールを用いた学び合いの視覚化

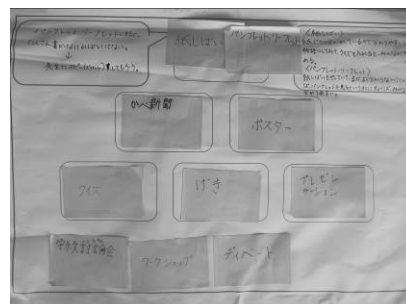
- ・学び合いを視覚化することで、活発に学び合いができるようにする。
- ・思考の流れを見える形にすることで、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。



【イメージマップ】



【座標軸】



【ランキング】

## ② 態度形成について

## 深く探求する態度を育てるための指導計画

- 課題の設定 (夏季休業を利用して体験したことを活かし課題を設定する。)
- 情報の収集 (コンピュータ、本、新聞、インタビューなどで情報の収集をする。)
- 情報の整理・分析 (思考ツールを活用して情報の整理や分析を行う。)
- まとめ・発表 (保護者に向けて発表をする。)

## (2) 成果と課題

- 他者との学び合いによって自分の考えを広げたり深めたりできていた。それが、プログラムのねらいである郷土への愛着や、熊谷のよさを互いに認め合うことにつながった。
- 課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・発表という総合的な学習の時間の学習の流れを身に付けることができた。
- 本プログラムについての評価が難しく、評価規準を明確にする必要があった。
- 思考ツールを使いこなすために、さらなる実践が必要である。